



主催： マリンバイオ共同推進機構（JAMBIO）
後援： 国際生物科学連合（IUBS）
日本動物学会、日本海洋学会

公開シンポジウム

マリンステーションの活動と国際連携

日時 2023年**3月11日**（土）13：30－17：30
場所 中央大学後楽園キャンパス5号館、オンライン
対象 研究者、学生・大学院生、高校生、一般
言語 日本語（海外からの参加者には通訳を提供）
参加申込 https://jambio.jp/topicsnews_category/forum-symposium/（当日参加可）

マリンステーションは海の生物や環境の研究と教育を目的とした海に隣接している施設です。海に囲まれた日本には、数多くのマリンステーションがあり、その歴史は130年以上にわたります。近年、温暖化、酸性化、プラスチックごみ、生態系破壊、生物多様性の減少、漁業資源の枯渇など、海洋は深刻でグローバルな問題に直面しています。本シンポジウムでは、日本と世界のマリンステーションの活動を紹介するとともに、これら地球規模の問題にマリンステーションがいかに連携し対応すべきかを考えます。

*本シンポジウムは、第5回JAMBIO国際シンポジウム、IUBS総会平行シンポジウムとして開催します。





公開シンポジウム マリンステーションの現状と国際連携

日時 2023年3月11日（土）13：30－17：30
場所 中央大学後楽園キャンパス、オンライン

プログラム（仮題）

- 13：30 開会挨拶 稲葉一男（筑波大学）
13：35 IUBSについて 窪川かおる
（日本学術会議IUBS分科会委員、帝京大学）
13：45 臨海実験所の歩みと現在
熊野岳（東北大学）
14：05 水産実験所の歩みと現在
山羽悦郎（北海道大学）
14：25 日本のマリンステーション連携－JAMBIOの設立と活動
稲葉一男
14：45 Tara-JAMBIOマイクロプラスチックプロジェクト
Yumiko Patouillet（Tara Ocean Japan）
15：05 環境DNAによる日本沿岸生物相のモニタリング
近藤倫生（ANEMONE, 東北大学）
15：25 （休憩）
15：35 世界マリンステーション連合による国際連携とSDGs
Matthew Frost（プリマス海洋生物研究所）
16：05 ビルフランシュ-シュル-メール海洋研究所
百瀬剛志（CNRS, ソルボンヌ大学）
16：30 ウッズホール海洋生物学研究所
谷知己（産業技術総合研究所）
16：55 パネルディスカッション
「マリンステーションの役割と国際連携」
17：25 閉会挨拶
17：30 閉会